

【表紙】

【提出書類】	半期報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2025年11月4日
【計算期間】	第7期中（自 2025年2月5日 至 2025年8月4日）
【ファンド名】	東京海上・がんとたかう投信（為替ヘッジなし）（年1回決算型） 東京海上・がんとたかう投信（為替ヘッジあり）（年1回決算型）
【発行者名】	東京海上アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 長澤 和哉
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内一丁目8番2号
【事務連絡者氏名】	尾崎 正幸
【連絡場所】	東京都千代田区丸の内一丁目8番2号
【電話番号】	03-3212-8421
【縦覧に供する場所】	該当なし

1 【ファンドの運用状況】

以下は2025年8月29日現在の運用状況です。

また、投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

(1) 【投資状況】

東京海上・がんとたかう投信（為替ヘッジなし）（年1回決算型）

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（%）
投資証券	ルクセンブルク	2,253,919,832	99.52
親投資信託受益証券	日本	10,039	0.00
コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）		10,743,267	0.47
合計（純資産総額）		2,264,673,138	100.00

東京海上・がんとたかう投信（為替ヘッジあり）（年1回決算型）

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（%）
投資証券	ルクセンブルク	196,126,074	96.50
親投資信託受益証券	日本	10,039	0.00
コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）		7,084,153	3.48
合計（純資産総額）		203,220,266	100.00

（ご参考：親投資信託の投資状況）

東京海上・がんとたかう投信（為替ヘッジなし）（年1回決算型）、東京海上・がんとたかう投信（為替ヘッジあり）（年1回決算型）が主要投資対象とする親投資信託の投資状況は以下の通りです。

東京海上マネーマザーファンド

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（%）
国債証券	日本	5,995,911	66.16
コール・ローン等、その他の資産（負債控除後）		3,066,217	33.83
合計（純資産総額）		9,062,128	100.00

(2) 【運用実績】

【純資産の推移】

東京海上・がんとたかう投信（為替ヘッジなし）（年1回決算型）

期	年月日	純資産総額 (百万円) (分配落)	純資産総額 (百万円) (分配付)	1口当たり 純資産額(円) (分配落)	1口当たり 純資産額(円) (分配付)
第1計算期間末	(2020年 2月 4日)	1,288	1,300	1.1302	1.1402
第2計算期間末	(2021年 2月 4日)	3,463	3,637	1.3925	1.4625
第3計算期間末	(2022年 2月 4日)	3,104	3,104	1.3676	1.3676
第4計算期間末	(2023年 2月 6日)	2,540	2,620	1.5584	1.6074
第5計算期間末	(2024年 2月 5日)	2,751	2,807	1.7065	1.7415
第6計算期間末	(2025年 2月 4日)	2,516	2,539	1.7626	1.7786
2024年 8月末日		2,899		1.9259	
9月末日		2,808		1.8391	
10月末日		2,830		1.8889	

11月末日	2,629		1.7866	
12月末日	2,544		1.7591	
2025年 1月末日	2,567		1.7922	
2月末日	2,434		1.7085	
3月末日	2,320		1.6377	
4月末日	2,140		1.5273	
5月末日	2,115		1.5112	
6月末日	2,178		1.5558	
7月末日	2,284		1.6341	
8月末日	2,264		1.6415	

東京海上・がんとたかう投信（為替ヘッジあり）（年1回決算型）

期	年月日	純資産総額 (百万円) (分配落)	純資産総額 (百万円) (分配付)	1口当たり 純資産額(円) (分配落)	1口当たり 純資産額(円) (分配付)
第1計算期間末	(2020年 2月 4日)	441	445	1.1205	1.1305
第2計算期間末	(2021年 2月 4日)	885	930	1.3829	1.4529
第3計算期間末	(2022年 2月 4日)	946	946	1.2605	1.2605
第4計算期間末	(2023年 2月 6日)	652	656	1.2993	1.3083
第5計算期間末	(2024年 2月 5日)	380	380	1.2262	1.2262
第6計算期間末	(2025年 2月 4日)	246	246	1.1854	1.1854
	2024年 8月末日	325		1.3644	
	9月末日	313		1.3150	
	10月末日	290		1.2723	
	11月末日	263		1.2212	
	12月末日	240		1.1541	
	2025年 1月末日	249		1.1973	
	2月末日	242		1.1769	
	3月末日	227		1.1150	
	4月末日	215		1.0742	
	5月末日	205		1.0451	
	6月末日	204		1.0634	
	7月末日	203		1.0914	
	8月末日	203		1.1024	

【分配の推移】

東京海上・がんとたかう投信（為替ヘッジなし）（年1回決算型）

期	計算期間	1口当たりの分配金（円）
第1計算期間	2019年 7月26日～2020年 2月 4日	0.0100
第2計算期間	2020年 2月 5日～2021年 2月 4日	0.0700
第3計算期間	2021年 2月 5日～2022年 2月 4日	0.0000

第4計算期間	2022年 2月 5日～2023年 2月 6日	0.0490
第5計算期間	2023年 2月 7日～2024年 2月 5日	0.0350
第6計算期間	2024年 2月 6日～2025年 2月 4日	0.0160

東京海上・がんとたかう投信（為替ヘッジあり）（年1回決算型）

期	計算期間	1口当たりの分配金（円）
第1計算期間	2019年 7月26日～2020年 2月 4日	0.0100
第2計算期間	2020年 2月 5日～2021年 2月 4日	0.0700
第3計算期間	2021年 2月 5日～2022年 2月 4日	0.0000
第4計算期間	2022年 2月 5日～2023年 2月 6日	0.0090
第5計算期間	2023年 2月 7日～2024年 2月 5日	0.0000
第6計算期間	2024年 2月 6日～2025年 2月 4日	0.0000

【収益率の推移】

東京海上・がんとたかう投信（為替ヘッジなし）（年1回決算型）

期	計算期間	収益率（%）（分配付）
第1計算期間	2019年 7月26日～2020年 2月 4日	14.0
第2計算期間	2020年 2月 5日～2021年 2月 4日	29.4
第3計算期間	2021年 2月 5日～2022年 2月 4日	1.8
第4計算期間	2022年 2月 5日～2023年 2月 6日	17.5
第5計算期間	2023年 2月 7日～2024年 2月 5日	11.7
第6計算期間	2024年 2月 6日～2025年 2月 4日	4.2
第7中間計算期間	2025年 2月 5日～2025年 8月 4日	9.5

東京海上・がんとたかう投信（為替ヘッジあり）（年1回決算型）

期	計算期間	収益率（%）（分配付）
第1計算期間	2019年 7月26日～2020年 2月 4日	13.1
第2計算期間	2020年 2月 5日～2021年 2月 4日	29.7
第3計算期間	2021年 2月 5日～2022年 2月 4日	8.9
第4計算期間	2022年 2月 5日～2023年 2月 6日	3.8
第5計算期間	2023年 2月 7日～2024年 2月 5日	5.6
第6計算期間	2024年 2月 6日～2025年 2月 4日	3.3
第7中間計算期間	2025年 2月 5日～2025年 8月 4日	9.8

2 【設定及び解約の実績】

東京海上・がんとたかう投信（為替ヘッジなし）（年1回決算型）

期	計算期間	設定口数(口)	解約口数(口)	発行済み口数(口)
第1計算期間	2019年 7月26日～2020年 2月 4日	1,700,494,268	560,011,930	1,140,482,338
第2計算期間	2020年 2月 5日～2021年 2月 4日	4,508,955,658	3,162,295,144	2,487,142,852

第3計算期間	2021年 2月 5日 ~ 2022年 2月 4日	942,316,657	1,159,414,500	2,270,045,009
第4計算期間	2022年 2月 5日 ~ 2023年 2月 6日	415,402,137	1,055,259,286	1,630,187,860
第5計算期間	2023年 2月 7日 ~ 2024年 2月 5日	451,309,167	469,351,481	1,612,145,546
第6計算期間	2024年 2月 6日 ~ 2025年 2月 4日	198,878,223	383,100,901	1,427,922,868
第7中間計算期間	2025年 2月 5日 ~ 2025年 8月 4日	67,632,516	97,321,160	1,398,234,224

東京海上・がんとたかう投信（為替ヘッジあり）（年1回決算型）

期	計算期間	設定口数(口)	解約口数(口)	発行済み口数(口)
第1計算期間	2019年 7月26日 ~ 2020年 2月 4日	538,030,015	143,779,447	394,250,568
第2計算期間	2020年 2月 5日 ~ 2021年 2月 4日	961,513,893	715,566,489	640,197,972
第3計算期間	2021年 2月 5日 ~ 2022年 2月 4日	411,798,164	300,810,529	751,185,607
第4計算期間	2022年 2月 5日 ~ 2023年 2月 6日	132,970,625	382,245,284	501,910,948
第5計算期間	2023年 2月 7日 ~ 2024年 2月 5日	18,751,894	210,289,212	310,373,630
第6計算期間	2024年 2月 6日 ~ 2025年 2月 4日	14,274,262	116,469,422	208,178,470
第7中間計算期間	2025年 2月 5日 ~ 2025年 8月 4日	3,587,286	25,774,107	185,991,649

3 【ファンドの経理状況】

- (1) 当ファンドの中間財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第284条及び第307条の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。
なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づいて、当中間計算期間(2025年2月5日から2025年8月4日まで)の中間財務諸表について、PwC Japan有限責任監査法人により中間監査を受けております。

中間財務諸表

【東京海上・がんとたかう投信（為替ヘッジなし）（年1回決算型）】

(1)【中間貸借対照表】

(単位：円)

	前期 2025年 2月 4日現在	当中間計算期間末 2025年 8月 4日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	65,777,324	67,978,061
投資証券	2,501,166,975	2,186,529,025
親投資信託受益証券	10,016	10,036
未収利息	962	960
流動資産合計	2,566,955,277	2,254,518,082
資産合計	2,566,955,277	2,254,518,082
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	22,846,765	-
未払解約金	11,119,853	11,662,454
未払受託者報酬	298,910	244,363
未払委託者報酬	15,692,566	12,829,380
その他未払費用	149,362	122,091
流動負債合計	50,107,456	24,858,288
負債合計	50,107,456	24,858,288
純資産の部		
元本等		
元本	1,1427,922,868	1,1398,234,224
剩余金		
中間剩余金又は中間欠損金（）	1,088,924,953	831,425,570
（分配準備積立金）	457,389,231	426,889,419
元本等合計	2,516,847,821	2,229,659,794
純資産合計	2,516,847,821	2,229,659,794
負債純資産合計	2,566,955,277	2,254,518,082

(2) 【中間損益及び剩余金計算書】

(単位：円)

	前中間計算期間 自 2024年 2月 6日 至 2024年 8月 5日	当中間計算期間 自 2025年 2月 5日 至 2025年 8月 4日
営業収益		
受取配当金	46,066,027	36,936,619
受取利息	19,783	128,657
有価証券売買等損益	205,022,046	264,637,930
営業収益合計	251,107,856	227,572,654
営業費用		
支払利息	559	-
受託者報酬	313,886	244,363
委託者報酬	16,478,670	12,829,380
その他費用	156,852	122,091
営業費用合計	16,949,967	13,195,834
営業利益又は営業損失（）	234,157,889	240,768,488
経常利益又は経常損失（）	234,157,889	240,768,488
中間純利益又は中間純損失（）	234,157,889	240,768,488
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（）	31,081,620	15,904,410
期首剩余金又は期首次損金（）	1,138,957,705	1,088,924,953
剩余金増加額又は欠損金減少額	96,256,861	41,315,612
中間一部解約に伴う剩余金増加額又は欠損金減少額	-	-
中間追加信託に伴う剩余金増加額又は欠損金減少額	96,256,861	41,315,612
剩余金減少額又は欠損金増加額	157,465,827	73,950,917
中間一部解約に伴う剩余金減少額又は欠損金増加額	157,465,827	73,950,917
中間追加信託に伴う剩余金減少額又は欠損金増加額	-	-
中間剩余金又は中間欠損金（）	1,280,825,008	831,425,570

(3)【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	当中間計算期間 自 2025年 2月 5日 至 2025年 8月 4日
有価証券の評価基準及び評価方法	投資証券及び親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、投資証券及び親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。

(中間貸借対照表に関する注記)

区分	前期 2025年 2月 4日現在	当中間計算期間末 2025年 8月 4日現在
1. 1 期首元本額	1,612,145,546円	1,427,922,868円
期中追加設定元本額	198,878,223円	67,632,516円
期中一部解約元本額	383,100,901円	97,321,160円
2. 1 中間計算期間末日における受益権の総数	1,427,922,868口	1,398,234,224口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

前中間計算期間 自 2024年 2月 6日 至 2024年 8月 5日	当中間計算期間 自 2025年 2月 5日 至 2025年 8月 4日
該当事項はありません。	同 左

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区分	前期 2025年 2月 4日現在	当中間計算期間末 2025年 8月 4日現在
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	(1)有価証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左

	(3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品について は、短期間で決済され、時価 は帳簿価額と近似しているた め、当該帳簿価額を時価とし ております。	(3)有価証券及びデリバティブ取 引以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定において は一定の前提条件等を採用して いるため、異なる前提条件等に よった場合、当該価額が異なる こともあります。	同左

(1口当たり情報に関する注記)

前期 2025年 2月 4日現在	当中間計算期間末 2025年 8月 4日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額 17,626円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額 15,946円)

【東京海上・がんとたかう投信（為替ヘッジあり）（年1回決算型）】

(1) 【中間貸借対照表】

(単位：円)

	前期 2025年 2月 4日現在	当中間計算期間末 2025年 8月 4日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	7,405,008	6,040,305
投資証券	241,318,452	194,886,004
親投資信託受益証券	10,016	10,036
未収利息	108	85
流動資産合計	<u>248,733,584</u>	<u>200,936,430</u>
資産合計	<u>248,733,584</u>	<u>200,936,430</u>
負債の部		
流動負債		
未払解約金	270,222	788,365
未払受託者報酬	31,156	23,699
未払委託者報酬	1,635,925	1,244,160
その他未払費用	15,501	11,751
流動負債合計	<u>1,952,804</u>	<u>2,067,975</u>
負債合計	<u>1,952,804</u>	<u>2,067,975</u>
純資産の部		
元本等		
元本	1,208,178,470	1,185,991,649
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（）	38,602,310	12,876,806
（分配準備積立金）	15,677,102	13,754,891
元本等合計	<u>246,780,780</u>	<u>198,868,455</u>
純資産合計	<u>246,780,780</u>	<u>198,868,455</u>
負債純資産合計	<u>248,733,584</u>	<u>200,936,430</u>

(2) 【中間損益及び剩余金計算書】

(単位：円)

	前中間計算期間 自 2024年 2月 6日 至 2024年 8月 5日	当中間計算期間 自 2025年 2月 5日 至 2025年 8月 4日
営業収益		
受取配当金	7,650,582	4,001,384
受取利息	2,896	13,379
有価証券売買等損益	20,165,695	26,432,428
営業収益合計	27,819,173	22,417,665
営業費用		
支払利息	54	-
受託者報酬	39,897	23,699
委託者報酬	2,094,555	1,244,160
その他費用	19,860	11,751
営業費用合計	2,154,366	1,279,610
営業利益又は営業損失（）	25,664,807	23,697,275
経常利益又は経常損失（）	25,664,807	23,697,275
中間純利益又は中間純損失（）	25,664,807	23,697,275
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（）	4,433,672	2,410,846
期首剩余金又は期首次損金（）	70,203,450	38,602,310
剩余金増加額又は欠損金減少額	1,747,098	318,736
中間一部解約に伴う剩余金増加額又は欠損金減少額	-	-
中間追加信託に伴う剩余金増加額又は欠損金減少額	1,747,098	318,736
剩余金減少額又は欠損金増加額	16,029,861	4,757,811
中間一部解約に伴う剩余金減少額又は欠損金増加額	16,029,861	4,757,811
中間追加信託に伴う剩余金減少額又は欠損金増加額	-	-
中間剩余金又は中間欠損金（）	77,151,822	12,876,806

(3)【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	当中間計算期間 自 2025年 2月 5日 至 2025年 8月 4日
有価証券の評価基準及び評価方法	投資証券及び親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、投資証券及び親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。

(中間貸借対照表に関する注記)

区分	前期 2025年 2月 4日現在	当中間計算期間末 2025年 8月 4日現在
1. 1 期首元本額	310,373,630円	208,178,470円
期中追加設定元本額	14,274,262円	3,587,286円
期中一部解約元本額	116,469,422円	25,774,107円
2. 1 中間計算期間末日における受益権の総数	208,178,470口	185,991,649口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

前中間計算期間 自 2024年 2月 6日 至 2024年 8月 5日	当中間計算期間 自 2025年 2月 5日 至 2025年 8月 4日
該当事項はありません。	同 左

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区分	前期 2025年 2月 4日現在	当中間計算期間末 2025年 8月 4日現在
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項	(1)有価証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左

	(3)有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品について は、短期間で決済され、時価 は帳簿価額と近似しているた め、当該帳簿価額を時価とし ております。	(3)有価証券及びデリバティブ取 引以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定において は一定の前提条件等を採用して いるため、異なる前提条件等に よった場合、当該価額が異なる こともあります。	同左

(1口当たり情報に関する注記)

前期 2025年 2月 4日現在	当中間計算期間末 2025年 8月 4日現在	
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.1854円 11,854円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)
	1.0692円 10,692円)	

(ご参考)

当ファンドは、「Candriam Equities L Oncology Impact」を主要な投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「投資証券」はすべて同ファンドの投資証券です。
 また、当ファンドは、「東京海上マネーマザーファンド」を主要な投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」はすべて同ファンドの受益証券です。なお、これら投資証券及び親投資信託受益証券の状況は次のとおりです。
 なお、以下に記載した情報は監査の対象ではありません。

「Candriam Equities L Oncology Impact」の状況

当投資証券は、ルクセンブルグの法律に基づき設立された外国投資法人です。同ファンドの財務書類は、UCI (Undertakings for Collective Investment)に関するルクセンブルグの法律に従い作成されており、独立監査人の監査を受けております。以下に記載した情報は、委託会社が同投資証券の管理会社であるCACEIS Bank から入手した2024年12月31日現在の財務書類の一部を抜粋・翻訳したものです。

(1)純資産計算書

2024年12月31日現在

金額(USD)

資産

投資有価証券（時価）	1,527,808,673
現預金	46,285,836
追加設定に係る未収入金	440,139
未収利息・配当金	565,171
為替予約取引に係る未実現利益	5,534,010
資産合計	<u>1,580,633,829</u>

負債

未払解約金		2,894,758
未払投資顧問料		727,609
未払受託者報酬		274,706
未払税		77,914
その他負債		14,260
負債合計		3,989,247
純資産総額		1,576,644,582

(2) 投資有価証券明細表

Description	Quantity	Currency	Market value (in USD)	% net assets
Transferable securities admitted to an official stock exchange listing or dealt on another regulated market				
Shares				
Cayman Islands				
BEIGENE - REG SHS	2,516,722	HKD	35,379,535	2.24
LEGEND BIOTECH CORP	221,819	USD	7,217,990	0.46
			42,597,525	2.70
Denmark				
COOPLAST -B-	174,250	DKK	19,022,922	1.21
GENMAB AG	102,297	DKK	21,200,624	1.34
NOVO NORDISK - BEARER AND/OR - REG SHS	733,073	DKK	63,539,295	4.03
			103,762,841	6.58
Germany				
BIONTECH - ADR 1 SHS	361,269	USD	41,166,603	2.61
MERCK KGAA	235,615	EUR	34,132,709	2.16
SIEMENS HEALTHINEERS	1,048,340	EUR	55,580,471	3.53
			130,879,783	8.30
Ireland				
ICON PLC	90,092	USD	18,893,193	1.20
			18,893,193	1.20
Japan				
CHUGAI PHARMACEUTICAL	468,700	JPY	20,873,192	1.32
DAIICHI SANKYO CO LTD	860,000	JPY	23,814,708	1.51
			44,687,900	2.83
Luxembourg				
LANTHEUS HOLDINGS INC	113,600	USD	10,162,656	0.64
REVOLUTION MEDICINES INC	401,883	USD	17,578,362	1.11
SPRINGWORKS THERAPEUTICS INC	164,006	USD	5,925,537	0.38
SYNDAX PHARMACEUTICALS INC	547,134	USD	7,233,111	0.46
			40,899,666	2.59
Netherlands				
IMMATICS NV	653,081	USD	4,643,406	0.29
MERUS - REG SHS	357,534	USD	15,034,305	0.95
			19,677,711	1.25
Switzerland				
LONZA GROUP	58,830	CHF	34,780,876	2.21
NOVARTIS AG PREFERENTIAL SHARE	513,270	CHF	50,235,238	3.19
ROCHE HOLDING LTD	267,624	CHF	75,449,250	4.79
SANDOZ GROUP AG	527,564	CHF	21,637,480	1.37
			182,102,844	11.55
United Kingdom				
ASTRAZENECA PLC	487,797	GBP	63,951,756	4.06
AUTOLUS THERAPEUTICS PLC	1,678,418	USD	3,944,282	0.25
BICYCLE THERAPEUTICS PLC	556,312	USD	7,788,368	0.49
IMMUNOCORE HOLDINGS PLC-ADR	134,779	USD	3,975,981	0.25
			79,660,387	5.05
United States of America				
AGILENT TECHNOLOGIES	91,612	USD	12,307,156	0.78
AMGEN INC	241,211	USD	62,869,235	3.99
ARCELLX INC	113,862	USD	8,732,077	0.55
ARVINAS - REG SHS	392,814	USD	7,530,244	0.48
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	1,013,582	USD	57,328,198	3.64
CELACITY INC	263,576	USD	3,453,582	0.22
DANAHER CORP	170,580	USD	39,156,639	2.48
ELI LILLY & CO	143,050	USD	110,434,599	7.00
EXACT SCIENCES CORP	345,399	USD	19,407,970	1.23
GILEAD SCIENCES INC	664,795	USD	61,407,114	3.89
GUARDANT HEALTH --- REGISTERED SHS	352,470	USD	10,767,950	0.68
HOLISTIC INC	805,674	USD	58,081,039	3.68
IDEAYA BIOSCIENCES INC	474,938	USD	12,205,907	0.77

ILLUMINA INC	105,041	USD	14,036,629	0.89
INCYTE CORP	292,804	USD	20,210,158	1.28
INTUITIVE SURGICAL	39,892	USD	20,822,028	1.32
IQVIA HOLDINGS INC	90,947	USD	17,871,995	1.13
KURA ONCOLOGY - REGISTERED	422,625	USD	3,681,064	0.23
MEDPACE HOLDINGS	40,233	USD	13,386,610	0.85
MERCK & CO INC	848,630	USD	84,421,711	5.35
METTLER TOLEDO INTERNATIONAL	6,537	USD	7,999,196	0.51
MODERNA INC	211,399	USD	8,789,970	0.56
NATERA	115,780	USD	18,327,974	1.16
NURIX THERAPEUTIC - REG SHS	381,551	USD	7,188,421	0.46
NUVALENT INC-A SHARES	185,516	USD	14,522,192	0.92
OLEMA PHARMA --- REGISTERED SHS	850,454	USD	4,958,147	0.31
REGENERON PHARMACEUTICALS INC	96,515	USD	68,750,530	4.36
RELAY THERAPEUTICS - REGISTERED SHS	1,729,099	USD	7,123,888	0.45
SUMMIT THERAPEUTICS INC	202,705	USD	3,617,271	0.23
TERNS PHARMACEUTICALS INC	1,285,148	USD	7,119,720	0.45
THERMO FISHER SCIENT SHS	131,335	USD	68,324,407	4.33
ZAI LAB AMERICAN DEPOSITORY RECEIPT REPR	375,456	USD	9,833,193	0.62
			864,646,823	54.84
Total Shares			1,527,808,673	96.90
Total transferable securities admitted to an official stock exchange listing or dealt on another regulated market			1,527,808,673	96.90
Total investment portfolio			1,527,808,673	96.90
Acquisition cost			1,597,569,509	

「東京海上マネーマザーファンド」の状況

(1) 貸借対照表

区分	注記番号	2025年 2月 4日現在	2025年 8月 4日現在	
		金額(円)	金額(円)	
資産の部				
流動資産				
コール・ローン		3,046,458	3,061,999	
国債証券		5,997,750	5,997,444	
未収利息		44	43	
流動資産合計		9,044,252	9,059,486	
資産合計		9,044,252	9,059,486	
負債の部				
流動負債				
流動負債合計				
負債合計				
純資産の部				
元本等				
元本	1	8,929,799	8,927,442	
剩余金				
剩余金又は欠損金()		114,453	132,044	
元本等合計		9,044,252	9,059,486	
純資産合計		9,044,252	9,059,486	
負債純資産合計		9,044,252	9,059,486	

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区 分	自 2025年 2月 5日 至 2025年 8月 4日
有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額又は日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）等で評価しております。

(貸借対照表に関する注記)

区 分	2025年 2月 4日現在	2025年 8月 4日現在
1. 1 本書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	8,428,914円	8,929,799円
同期中における追加設定元本額	1,833,566円	円
同期中における一部解約元本額	1,332,681円	2,357円
同中間期末における元本額	8,929,799円	8,927,442円
元本の内訳*		
東京海上・東南アジア株式ファンド	1,100,000円	1,100,000円
東京海上・アジア中小型成長株ファンド	1,100,000円	1,100,000円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファン ド（通貨選択型）円コース（毎月分配型）	991,474円	991,474円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファン ド（通貨選択型）米ドルコース（毎月分配 型）	9,915円	9,915円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファン ド（通貨選択型）ユーロコース（毎月分配 型）	9,915円	9,915円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファン ド（通貨選択型）豪ドルコース（毎月分配 型）	991,474円	991,474円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファン ド（通貨選択型）ブラジル・レアルコース (毎月分配型)	991,474円	991,474円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファン ド（通貨選択型）資源国通貨バスケット コース（毎月分配型）	9,915円	9,915円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファン ド（通貨選択型）マネーブール・ファンド	3,666,264円	3,663,907円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファン ド（通貨選択型）メキシコ・ペソコース (毎月分配型)	9,898円	9,898円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファン ド（通貨選択型）トルコ・リラコース（毎 月分配型）	9,898円	9,898円

東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファン ド 円コース（年1回決算型）	9,896円	9,896円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファン ド 米ドルコース（年1回決算型）	9,896円	9,896円
東京海上・がんとたかう投信（為替ヘッ ジなし）（年1回決算型）	9,890円	9,890円
東京海上・がんとたかう投信（為替ヘッ ジあり）（年1回決算型）	9,890円	9,890円
計	8,929,799円	8,927,442円
2. 1 本書における開示対象ファンドの中間計算 期間末日における当該親投資信託の受益権 の総数	8,929,799口	8,927,442口

(注) *は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区分	2025年 2月 4日現在	2025年 8月 4日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及び これらの差額	時価で計上しているため、その 差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法並びに有価証 券及びデリバティブ取引に関 する事項	<p>(1)有価証券 (重要な会計方針に係る事項 に関する注記)に記載してお ります。</p> <p>(2)デリバティブ取引 該当事項はありません。</p> <p>(3)有価証券及びデリバティブ取 引以外の金融商品 有価証券及びデリバティブ取 引以外の金融商品について は、短期間で決済され、時価 は帳簿価額と近似してい るため、当該帳簿価額を時価とし ております。</p>	<p>(1)有価証券 同左</p> <p>(2)デリバティブ取引 同左</p> <p>(3)有価証券及びデリバティブ取 引以外の金融商品 同左</p>
3. 金融商品の時価等に関する事 項についての補足説明	金融商品の時価の算定におい ては一定の前提条件等を採用して いるため、異なる前提条件等に よった場合、当該価額が異なる こともあります。	同左

(1口当たり情報に関する注記)

2025年 2月 4日現在	2025年 8月 4日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額	1.0128円 10,128円)
	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額

4 【委託会社等の概況】

(1) 【資本金の額】

2025年8月末日現在、資本金の額は20億円です。なお、会社の発行可能株式総数は160,000株であり、38,300株を発行済みです。最近5年間における資本金の額の増減はありません。

(2) 【事業の内容及び営業の状況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務を行っています。

2025年8月末日現在、委託会社が運用を行っている証券投資信託（親投資信託を除きます。）は次の通りです。

	本数	純資産総額（百万円）
追加型公社債投資信託	0	0
追加型株式投資信託	178	2,906,112
単位型公社債投資信託	1	2,717
単位型株式投資信託	18	86,038
合計	197	2,994,869

(3) 【その他】

提出日現在、訴訟事件その他委託会社等に重要な影響を及ぼした事実、及び重要な影響を及ぼすことが予想される事実はありません。

5 【委託会社等の経理状況】

- 1 . 当社の財務諸表は「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。
- 2 . 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第40期事業年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の財務諸表について、PwC Japan有限責任監査法人により監査を受けております。

(1) 【貸借対照表】

(単位 : 千円)

	第39期 (2024年 3月31日現在)	第40期 (2025年 3月31日現在)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	20,242,052	1,643,002
前払費用	523,560	504,626
関係会社短期貸付金	-	* 1 19,384,558
未収委託者報酬	3,523,505	3,544,046
未収収益	4,088,251	3,929,834
未収入金	-	12,841
その他の流動資産	26,495	34,763
流動資産計	28,403,865	29,053,672
固定資産		
有形固定資産	* 2 631,543	* 2 646,419
建物	434,854	387,569
器具備品	196,689	167,868
リース資産	-	90,981
無形固定資産	397,761	614,848
電話加入権	3,795	3,795
ソフトウエア	372,797	410,834
ソフトウエア仮勘定	21,168	200,219
投資その他の資産	3,566,905	3,375,118
投資有価証券	49,108	45,279
関係会社株式	1,668,529	1,641,087
その他の関係会社有価証券	80,000	80,000
長期前払費用	16,227	85,968
敷金	474,324	474,324
その他長期差入保証金	21,230	21,230
繰延税金資産	1,257,485	1,027,229
固定資産計	4,596,210	4,636,386
資産合計	33,000,075	33,690,058
負債の部		
流動負債		
未払金	4,260,390	4,569,098
未払手数料	1,583,647	1,597,903
その他未払金	2,676,743	2,971,194
未払費用	321,531	419,084
未払消費税等	420,603	176,930
未払法人税等	1,391,000	679,000
預り金	72,829	55,624
前受収益	2,583	2,517
賞与引当金	296,807	430,032
リース債務	-	18,913
その他の流動負債	24	1
流動負債計	6,765,771	6,351,202
固定負債		
長期未払金	-	7,284
退職給付引当金	927,210	929,235
リース債務	-	70,555
固定負債計	927,210	1,007,074
負債合計	7,692,982	7,358,277
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,296,494	26,322,588
資本剰余金	2,000,000	2,000,000
その他資本剰余金	400,000	400,000
株主資本合計	29,700,494	28,722,588
純資産合計	23,997,073	23,333,277

利益剰余金	22,896,494	23,922,588
利益準備金	500,000	500,000
その他利益剰余金	22,396,494	23,422,588
繰越利益剰余金	22,396,494	23,422,588
評価・換算差額等	10,599	9,192
その他有価証券評価差額金	10,599	9,192
純資産合計	25,307,093	26,331,781
負債・純資産合計	33,000,075	33,690,058

(2) 【損益計算書】

(単位：千円)

	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	第40期 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	16,958,564	15,942,593
運用受託報酬	13,291,669	13,704,198
投資助言報酬	107,390	119,640
その他営業収益	678,515	698,269
営業収益計	31,036,140	30,464,702
営業費用		
支払手数料	7,801,482	7,184,184
広告宣伝費	203,242	208,842
調査費	8,650,200	9,117,522
調査費	3,298,847	3,569,637
委託調査費	5,351,353	5,547,885
委託計算費	116,944	130,446
営業雜経費	263,317	266,277
通信費	57,380	59,666
印刷費	157,178	154,034
協会費	24,327	26,294
諸会費	15,737	16,846
図書費	8,693	9,435
営業費用計	17,035,188	16,907,274
一般管理費		
給料	4,075,417	4,011,683
役員報酬	82,371	78,387
給料・手当	3,010,062	3,201,466
賞与	982,983	731,830
交際費	25,693	20,001
寄付金	9,893	1,400
旅費交通費	162,304	191,110
租税公課	246,078	92,032
不動産賃借料	468,091	468,092
退職給付費用	178,404	180,129
賞与引当金繰入	296,807	430,032
固定資産減価償却費	247,247	277,210
法定福利費	686,198	713,675
福利厚生費	14,385	13,064
諸経費	642,231	482,971
一般管理費計	7,052,753	6,881,403
営業利益		
営業外収益		
受取利息	185	41,081

受取配当金	1,238	2,222
雑益	15,069	15,596
営業外収益計	16,493	58,900
営業外費用		
支払利息	-	686
為替差損	80,542	29,798
雑損	15,415	4,633
営業外費用計	95,958	35,118
経常利益	6,868,734	6,699,806
特別利益		
投資有価証券売却益	829	-
関係会社清算益	-	172,297
その他特別利益	402	-
特別利益計	1,232	172,297
特別損失		
固定資産除却損	30,348	14
関係会社清算損	382	2,236
特別損失計	30,731	2,251
税引前当期純利益	6,839,235	6,869,851
法人税、住民税及び事業税	2,410,514	1,825,606
法人税等調整額	305,632	230,702
法人税等合計	2,104,882	2,056,308
当期純利益	4,734,352	4,813,542

(3) 【株主資本等変動計算書】

第39期(自 2023年4月1日至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	
		その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益 剰余金
当期首残高	2,000,000	400,000	400,000	500,000	22,310,382
当期変動額					
剰余金の配当					4,648,241
当期純利益					4,734,352
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	-	-	86,111
当期末残高	2,000,000	400,000	400,000	500,000	22,396,494

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計	
	利益剰余金	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等 合計		
	利益剰余金 合計					
当期首残高	22,810,382	25,210,382	5,624	5,624	25,216,006	
当期変動額						
剰余金の配当	4,648,241	4,648,241			4,648,241	
当期純利益	4,734,352	4,734,352			4,734,352	

株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			4,974	4,974	4,974
当期変動額合計	86,111	86,111	4,974	4,974	91,086
当期末残高	22,896,494	25,296,494	10,599	10,599	25,307,093

第40期(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

資本金	株主資本				
	資本剰余金		利益剰余金		
	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益 剰余金	繰越利益 剰余金
当期首残高	2,000,000	400,000	400,000	500,000	22,396,494
当期変動額					
剰余金の配当					3,787,448
当期純利益					4,813,542
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	-	-	1,026,094
当期末残高	2,000,000	400,000	400,000	500,000	23,422,588

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	利益剰余金	株主資本 合計	その他 有価証券	評価・換算 差額等	
	利益剰余金 合計		評価差額金	合計	
当期首残高	22,896,494	25,296,494	10,599	10,599	25,307,093
当期変動額					
剰余金の配当	3,787,448	3,787,448			3,787,448
当期純利益	4,813,542	4,813,542			4,813,542
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			1,406	1,406	1,406
当期変動額合計	1,026,094	1,026,094	1,406	1,406	1,024,687
当期末残高	23,922,588	26,322,588	9,192	9,192	26,331,781

注記事項

(重要な会計方針)

第40期(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式並びにその他の関係会社有価証券

移動平均法による原価法

(2) その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

当事業年度末日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法を採用しております。ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。また、取得価額が10万円以上20万円未満の少額減価償却資産については、一括償却資産として3年間で均等償却する方法を採用しております。

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

(3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リースに係る有形固定資産中のリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額の当期負担額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については給付算定期限によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理しております。

4. 収益及び費用の計上基準

当社は、顧客への投資運用業及び投資助言・代理業に関するサービスから生じる委託者報酬、運用受託報酬等により収益を獲得しております。これらには成功報酬が含まれる場合があります。

(1) 運用報酬

投資運用・助言サービスのうち運用資産残高等を基礎として算定される報酬（運用報酬）については、当該サービスに係る履行義務は日々充足されると判断し、運用期間にわたり収益として認識しております。確定した報酬は、月次、年4回、年2回もしくは年1回受け取ります。

(2) 成功報酬

成功報酬は、契約上定められる超過収益の達成等により履行義務を充足し、報酬額及び支払われることが確定した時点で収益として認識しております。確定した報酬は、履行義務充足時点から短期間で支払いを受けます。

（重要な会計上の見積り）

第39期 2024年3月31日現在	第40期 2025年3月31日現在
当事業年度の財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌事業年度の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクを識別していないため、注記を省略しております。	同左

（未適用の会計基準等）

第40期
自 2024年4月1日
至 2025年3月31日

- ・「リースに関する会計基準」（企業会計基準第34号 2024年9月13日）
 - ・「リースに関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第33号 2024年9月13日）
- ほか、関連する企業会計基準、企業会計基準適用指針、実務対応報告及び移管指針の改定

(1) 概要

企業会計基準委員会において、日本基準を国際的に整合性のあるものとする取組みの一環として、借手の全てのリースについて資産および負債を認識するリースに関する会計基準の開発に向けて、国際的な会計基準を踏まえた検討が行われ、基本的な方針として、IFRS第16号の単一の会計処理モデルを基礎とするものの、IFRS第16号の全ての定めを採り入れるのではなく、主要な定めのみを採り入れることにより、簡素で利便性が高く、かつ、IFRS第16号の定めを個別財務諸表に用いても、基本的に修正が不要となることを目指したリース会計基準等が公表されました。

借手の会計処理として、借手のリースの費用配分の方法については、IFRS第16号と同様に、リースがファイナンス・リースであるかオペレーティング・リースであるかにかかわらず、全てのリースについて使用権資産に係る減価償却費およびリース負債に係る利息相当額を計上する単一の会計処理モデルが適用されます。

(2) 適用予定日

2028年3月期の期首から適用します。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

「リースに関する会計基準」等の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

(貸借対照表関係)

第39期 2024年3月31日現在	第40期 2025年3月31日現在						
-	<p>* 1 . 当社は、グループ全体の資金管理や資金効率の向上をはかる目的として、キャッシュ・マネジメント・サービス（以下「CMS」）を導入しております。当社は、関係会社と、CMSによる貸出コミットメントを定めた金銭消費貸借契約を締結しています。「関係会社短期貸付金」は、これによる貸付金であります。CMSにおける貸出コミットメントに係る貸出未実行残高は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">貸出コミットメント</td> <td style="width: 50%;">30,000,000千円 の総額</td> </tr> <tr> <td>貸出実行残高</td> <td>19,384,558千円</td> </tr> <tr> <td>差引額</td> <td>10,615,441千円</td> </tr> </table> <p>なお、上記金銭消費貸借契約書において、経済情勢、金融情勢の変化、契約当事者の経営状態の変化、その他事由があるときには、貸出コミットメントの金額及び利息の条件について、契約当事者間で同意の上で変更できるものと定められており、必ずしも全額が貸出実行されるものではありません。また、当社の資金が不足している場合には、資金を借り入れる場合があります。</p>	貸出コミットメント	30,000,000千円 の総額	貸出実行残高	19,384,558千円	差引額	10,615,441千円
貸出コミットメント	30,000,000千円 の総額						
貸出実行残高	19,384,558千円						
差引額	10,615,441千円						
* 2 . 有形固定資産の減価償却累計額は次のとおりであります。	* 2 . 有形固定資産の減価償却累計額は次のとおりであります。						

建物	245,354千円	建物	292,639千円
器具備品	481,065千円	器具備品	533,641千円

(損益計算書関係)

第39期 自 2023年4月1日 至 2024年3月31日	第40期 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日
関係会社に対する営業外収益のうち、雑益の合計額は営業外収益の総額の100分の10を超えており、その金額は9,623千円であります。	関係会社に対する営業外収益のうち、雑益の合計額は営業外収益の総額の100分の10を超えており、その金額は7,222千円であります。

(株主資本等変動計算書関係)

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	(単位：株)		
	2023年4月1日 現在	増加	減少
普通株式	38,300	-	-

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

2023年6月29日の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	4,648,241千円
(ロ) 1株当たり配当額	121,364円
(ハ) 基準日	2023年3月31日
(二) 効力発生日	2023年6月29日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2024年6月26日の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	3,787,448千円
(ロ) 配当の原資	繰越利益剰余金
(ハ) 1株当たり配当額	98,889円
(二) 基準日	2024年3月31日
(ホ) 効力発生日	2024年6月26日

第40期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	(単位：株)		
	2024年4月1日 現在	増加	減少
普通株式	38,300	-	-

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

2024年6月26日の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	3,787,448千円
(ロ) 1株当たり配当額	98,889円
(ハ) 基準日	2024年3月31日
(二) 効力発生日	2024年6月26日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2025年6月26日の定時株主総会において、次のとおり配当を提案する予定であります。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	3,850,796千円
(ロ) 配当の原資	繰越利益剰余金
(ハ) 1株当たり配当額	100,543円
(二) 基準日	2025年3月31日
(ホ) 効力発生日	2025年6月26日

（リース取引関係）

第40期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

所有権移転外ファイナンス・リース取引

1. リース資産の内容

・有形固定資産 主として、社内システム用ハードウェア（器具備品）であります。

2. リース資産の減価償却の方法

「重要な会計方針」の「2. 固定資産の減価償却の方法」に記載の通りであります。

（金融商品関係）

1. 金融商品の状況に関する事項

第39期 自 2023年4月1日 至 2024年3月31日	第40期 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日
(1) 金融商品に対する取組方針 当社の資本は本来の事業目的のために使用することを基本とし、資産の運用に際しては、資産運用リスクを極力最小限に留めることを基本方針としております。	(1) 金融商品に対する取組方針 同左
(2) 金融商品の内容及びそのリスク 営業債権である未収収益は顧客の信用リスクに晒されており、未収委託者報酬は市場リスクに晒されています。投資有価証券は、主にファンドの自己設定に関連する投資信託であり、基準価額の変動リスクに晒されております。 営業債務である未払金は、ほとんど1年以内の支払期日であり、流動性リスクに晒されております。	(2) 金融商品の内容及びそのリスク 同左
(3) 金融商品に係るリスク管理体制 信用リスク 未収収益については、管理部門において取引先ごとに期日及び残高を把握することで、回収懸念の早期把握や軽減を図っております。 市場リスク 未収委託者報酬には、運用資産の悪化から回収できず当社が損失を被るリスクが存在しますが、過去の回収実績からリスクは僅少であると判断しております。 投資有価証券については、管理部門において定期的に時価を把握する体制としております。 流動性リスク 当社は、日々資金残高管理を行っており流動性リスクを管理しております。	(3) 金融商品に係るリスク管理体制 信用リスク 同左 市場リスク 同左 流動性リスク 同左

2. 金融商品の時価等に関する事項

第39期（2024年3月31日現在）

2024年3月31日現在における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
投資有価証券			
その他有価証券	49,108	49,108	-
敷金	474,324	472,538	1,786
資産計	523,432	521,646	1,786

(注1)以下の金融商品については、現金であること、及び短期で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

現金・預金
未収委託者報酬
未収収益
預り金
未払金
未払費用

(注2)関係会社株式及びその他の関係会社有価証券については、市場価格のない株式等に該当することから、時価を注記しておりません。これらの貸借対照表計上額は、それぞれ以下のとおりです。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額
関係会社株式	
子会社株式	1,640,302
関連会社株式	28,227
その他の関係会社有価証券	80,000

(注3)金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの	-	18,872	1,912	1,101
合計	-	18,872	1,912	1,101

第40期（2025年3月31日現在）

2025年3月31日現在における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
投資有価証券			
その他有価証券	45,279	45,279	-
敷金	474,324	471,310	3,013
資産計	519,603	516,589	3,013
リース債務（注3）	89,468	88,245	1,222
長期未払金（注4）	9,317	8,824	492
負債計	98,785	97,070	1,715

(注1)以下の金融商品については、現金であること、及び短期で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

現金・預金
関係会社短期貸付金
未収委託者報酬
未収収益
未収入金

預り金
未払金（1年内返済予定の長期未払金を除く）
未払費用

(注2) 関係会社株式及びその他の関係会社有価証券については、市場価格のない株式等に該当することから、時価を注記しておりません。これらの貸借対照表計上額は、それぞれ以下のとおりです。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額
関係会社株式	
子会社株式	1,641,087
その他の関係会社有価証券	80,000

(注3) リース債務については、1年内返済予定のリース債務を含めてあります。

(注4) 長期未払金については、1年内返済予定の長期未払金を含んであります。

(注5) 金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
関係会社短期貸付金	19,384,558	-	-	-
投資有価証券 その他有価証券のうち満期があるもの	866	8,257	8,534	-
合計	19,385,424	8,257	8,534	-

(注6) リース債務及び長期未払金の決算日後の返済予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
リース債務(注3)	18,913	19,247	19,586	19,932	11,789	-
長期未払金(注4)	2,032	2,032	2,032	2,032	1,185	-
合計	20,946	21,279	21,619	21,965	12,974	-

3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

第39期（2024年3月31日現在）

金融商品の時価を時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

- レベル1の時価 : 観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価
- レベル2の時価 : 観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価
- レベル3の時価 : 観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

(1) 時価で貸借対照表に計上している金融商品

(単位：千円)

	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
投資有価証券				
その他有価証券	-	49,108	-	49,108
資産計	-	49,108	-	49,108

(2) 時価で貸借対照表に計上している金融商品以外の金融商品

(単位：千円)

	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計

敷金	-	472,538	-	472,538
資産計	-	472,538	-	472,538

(注) 時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

投資有価証券

投資信託は基準価額を用いて評価しており、活発な市場における相場価格とはいえないことから、レベル2の時価に分類しております。

敷金

敷金は、回収可能性を反映した将来キャッシュ・フローを残存期間に対応する国債の利回り等で割り引いた現在価値により算定しており、レベル2の時価に分類しております。

第40期（2025年3月31日現在）

金融商品の時価を時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

- | | |
|---------|---|
| レベル1の時価 | ：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価 |
| レベル2の時価 | ：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価 |
| レベル3の時価 | ：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価 |

(1) 時価で貸借対照表に計上している金融商品

(単位：千円)

	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
投資有価証券				
その他有価証券	-	45,279	-	45,279
資産計	-	45,279	-	45,279

(2) 時価で貸借対照表に計上している金融商品以外の金融商品

(単位：千円)

	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
敷金	-	471,310	-	471,310
資産計	-	471,310	-	471,310
リース債務	-	88,245	-	88,245
長期未払金	-	8,824	-	8,824
負債計	-	97,070	-	97,070

(注1) 時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

投資有価証券

投資信託は基準価額を用いて評価しており、活発な市場における相場価格とはいえないことから、レベル2の時価に分類しております。

敷金

敷金は、回収可能性を反映した将来キャッシュ・フローを残存期間に対応する国債の利回り等で割り引いた現在価値により算定しており、レベル2の時価に分類しております。

リース債務

リース債務の時価については、元利金の合計額を同様の新規リース取引を行った場合に想定される利率で割り引いて算定しており、レベル2の時価に分類しております。

長期未払金

長期未払金の時価については、新規に同様の契約を行なった場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しており、レベル2の時価に分類しております。

(注2) リース債務については、1年内返済予定のリース債務を含めてあります。

(注3) 長期未払金については、1年内返済予定の長期未払金を含んであります。

(有価証券関係)

第39期 2024年3月31日現在				第40期 2025年3月31日現在																																			
1. 子会社株式及び関連会社株式並びにその他の関係会社有価証券				1. 子会社株式及びその他の関係会社有価証券																																			
子会社株式及び関連会社株式（貸借対照表計上額 子会社株式1,640,302千円、関連会社株式28,227千円）並びにその他の関係会社有価証券（貸借対照表計上額 80,000千円）は、市場価格のない株式等に該当することから、記載しておりません。				子会社株式（貸借対照表計上額 1,641,087千円）及びその他の関係会社有価証券（貸借対照表計上額 80,000千円）は、市場価格のない株式等に該当することから、記載しておりません。																																			
2. その他有価証券				2. その他有価証券																																			
(単位：千円)				(単位：千円)																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>貸借対照表 計上額</th><th>取得原価</th><th>差額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸借対照 表計上額が 取得原価を 超えるもの 証券投資 信託</td><td>37,893</td><td>20,877</td><td>17,015</td></tr> <tr> <td>貸借対照 表計上額が 取得原価を 超えないもの 証券投資 信託</td><td>11,214</td><td>12,953</td><td>1,738</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>49,108</td><td>33,831</td><td>15,277</td></tr> </tbody> </table>				区分	貸借対照表 計上額	取得原価	差額	貸借対照 表計上額が 取得原価を 超えるもの 証券投資 信託	37,893	20,877	17,015	貸借対照 表計上額が 取得原価を 超えないもの 証券投資 信託	11,214	12,953	1,738	合計	49,108	33,831	15,277	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>貸借対照表 計上額</th><th>取得原価</th><th>差額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸借対照 表計上額が 取得原価を 超えるもの 証券投資 信託</td><td>33,551</td><td>17,453</td><td>16,098</td></tr> <tr> <td>貸借対照 表計上額が 取得原価を 超えないもの 証券投資 信託</td><td>11,727</td><td>14,402</td><td>2,674</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>45,279</td><td>31,855</td><td>13,423</td></tr> </tbody> </table>				区分	貸借対照表 計上額	取得原価	差額	貸借対照 表計上額が 取得原価を 超えるもの 証券投資 信託	33,551	17,453	16,098	貸借対照 表計上額が 取得原価を 超えないもの 証券投資 信託	11,727	14,402	2,674	合計	45,279	31,855	13,423
区分	貸借対照表 計上額	取得原価	差額																																				
貸借対照 表計上額が 取得原価を 超えるもの 証券投資 信託	37,893	20,877	17,015																																				
貸借対照 表計上額が 取得原価を 超えないもの 証券投資 信託	11,214	12,953	1,738																																				
合計	49,108	33,831	15,277																																				
区分	貸借対照表 計上額	取得原価	差額																																				
貸借対照 表計上額が 取得原価を 超えるもの 証券投資 信託	33,551	17,453	16,098																																				
貸借対照 表計上額が 取得原価を 超えないもの 証券投資 信託	11,727	14,402	2,674																																				
合計	45,279	31,855	13,423																																				
3. 当事業年度中に売却したその他有価証券				3. 当事業年度中に売却したその他有価証券 該当する取引はありません。																																			
(単位：千円)																																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>売却額</th><th>売却益の 合計額</th><th>売却損の 合計額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>株式</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr> <td>債券</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>5,767</td><td>829</td><td>-</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>5,767</td><td>829</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>								区分	売却額	売却益の 合計額	売却損の 合計額	株式	-	-	-	債券	-	-	-	その他	5,767	829	-	合計	5,767	829	-												
区分	売却額	売却益の 合計額	売却損の 合計額																																				
株式	-	-	-																																				
債券	-	-	-																																				
その他	5,767	829	-																																				
合計	5,767	829	-																																				

(収益認識関係)

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

	運用報酬	成功報酬	合計
委託者報酬	16,958,564	-	16,958,564
運用受託報酬	12,488,818	802,851	13,291,669
投資助言報酬	107,390	-	107,390
その他営業収益	678,515	-	678,515
合計	30,233,289	802,851	31,036,140

2. 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度末において存在する顧客との契約から当事業年度の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

顧客との契約から生じた債権等

顧客との契約から生じた債権（期首残高） 6,222,195千円

顧客との契約から生じた債権（期末残高） 7,611,757千円

(*) なお、当事業年度の期首及び期末において、顧客との契約から生じた契約資産及び契約負債はありません。

第40期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：千円)

	運用報酬	成功報酬	合計
委託者報酬	15,928,520	14,072	15,942,593
運用受託報酬	13,578,919	125,279	13,704,198
投資助言報酬	119,640	-	119,640
その他営業収益	698,269	-	698,269
合計	30,325,350	139,352	30,464,702

2. 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度末において存在する顧客との契約から当事業年度の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

顧客との契約から生じた債権等

顧客との契約から生じた債権（期首残高） 7,611,757千円

顧客との契約から生じた債権（期末残高） 7,473,880千円

(*) なお、当事業年度の期首及び期末において、顧客との契約から生じた契約資産及び契約負債はありません。

(退職給付関係)

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、従業員の退職給付に備えるため、非積立型の確定給付制度及び確定拠出年金制度を採用しております。

退職一時金制度（非積立型制度であります。）では、当社従業員を制度対象として、給与と勤続年数に基づき算出した一時金を支給しております。受入出向者については退職給付負担金を支払っており、損益計算書上の退職給付費用には当該金額が含まれております。貸借対照表上は出向期間3年以下の出向者に係る金額が退職給付引当金に、出向期間3年超の出向者に係る金額がその他未払金にそれぞれ含まれております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

退職給付債務の期首残高	869,667千円
勤務費用	73,630千円
利息費用	6,822千円
数理計算上の差異の発生額	29,062千円
退職給付の支払額	38,184千円
退職給付債務の期末残高	940,999千円

(2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	-
年金資産	-
	-
非積立型制度の退職給付債務	940,999千円
未積立退職給付債務	940,999千円
未認識数理計算上の差異	13,789千円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	927,210千円
	-
退職給付引当金	927,210千円

貸借対照表に計上された負債と資産の純額	927,210千円
---------------------	-----------

(3) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	73,630千円
利息費用	6,822千円
数理計算上の差異の費用処理額	1,778千円
その他	10,687千円
確定給付制度に係る退職給付費用	89,362千円

(4) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎（加重平均で表しております。）

割引率 0.9%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、89,041千円であります。

第40期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、従業員の退職給付に備えるため、非積立型の確定給付制度及び確定拠出年金制度を採用しております。

退職一時金制度（非積立型制度であります。）では、当社従業員を制度対象として、給与と勤続年数に基づき算出した一時金を支給しております。受入出向者については退職給付負担金を支払っており、損益計算書上の退職給付費用には当該金額が含まれております。貸借対照表上は出向期間3年以下の出向者に係る金額が退職給付引当金に、出向期間3年超の出向者に係る金額がその他未払金にそれぞれ含まれております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

退職給付債務の期首残高	940,999千円
勤務費用	69,192千円
利息費用	8,142千円
数理計算上の差異の発生額	54,402千円
退職給付の支払額	76,437千円
退職給付債務の期末残高	887,494千円

(2) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	-
年金資産	-
	-
非積立型制度の退職給付債務	887,494千円
未積立退職給付債務	887,494千円
未認識数理計算上の差異	41,740千円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	929,235千円
	-
退職給付引当金	929,235千円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	929,235千円

(3) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	69,192千円
利息費用	8,142千円
数理計算上の差異の費用処理額	1,127千円
その他	10,501千円
確定給付制度に係る退職給付費用	88,963千円

(4) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎(加重平均で表しております。)

割引率 1.5%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、91,165千円であります。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	第39期 (2024年3月31日現在)	第40期 (2025年3月31日現在)
繰延税金資産		
退職給付引当金	283,911千円	292,894千円
未払金	3,362千円	3,308千円
賞与引当金	90,882千円	131,675千円
未払法定福利費	12,359千円	15,190千円
未払事業所税	4,097千円	4,044千円
未払事業税	73,982千円	39,392千円
未払調査費	108,813千円	99,432千円
減価償却超過額	7,259千円	12千円
繰延資産超過額	12,236千円	14,842千円
未払確定拠出年金	2,331千円	2,352千円
未収実績連動報酬	264,384千円	38,200千円
前払費用	-	562千円
未払費用	404,707千円	397,773千円
繰延税金資産小計	1,268,329千円	1,039,682千円
評価性引当額	-	-
繰延税金資産合計	1,268,329千円	1,039,682千円
繰延税金負債		
前払費用	6,166千円	8,221千円
その他有価証券評価差額金	4,677千円	4,231千円
繰延税金負債合計	10,844千円	12,453千円
繰延税金資産の純額	1,257,485千円	1,027,229千円

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

第39期 (2024年3月31日現在)	第40期 (2025年3月31日現在)
法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。	同左

3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」(令和7年法律第13号)が2025年3月31日に国会で成立し、2026年4月1日以後開始する事業年度より「防衛特別法人税」の課税が行われることになりました。

これに伴い、2026年4月1日以後開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異等に係る繰延税金資産及び繰延税金負債については、法定実効税率を30.62%から31.52%に変更して計算しております。

この変更により、当事業年度の繰延税金資産(繰延税金負債の金額を控除した金額)が8,670千円、法人税等調整額が8,791千円それぞれ増加し、その他有価証券評価差額金が120千円減少しております。

4. 法人税及び地方法人税に関する税効果会計の会計処理

当社は、グループ通算制度を適用しているため、法人税及び地方法人税の会計処理またはこれらに関する税効果会計の会計処理および開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日）を適用しています。

(セグメント情報等)

第39期 自 2023年4月1日 至 2024年3月31日	第40期 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日												
<p>[セグメント情報]</p> <p>当社は「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社であり証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者として運用（投資運用業）を行っております。また「金融商品取引法」に定める投資助言・代理業を行っております。</p> <p>当社は、投資運用業及び投資助言・代理業にこれらの附帯業務を集約した単一セグメントを報告セグメントとしております。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。</p> <p>[関連情報]</p> <p>1. 製品及びサービスごとの情報</p> <p>単一のサービス区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。</p> <p>2. 地域ごとの情報</p> <p>(1) 営業収益</p> <p style="text-align: center;">(単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">日本</th><th style="text-align: center;">その他</th><th style="text-align: center;">合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">27,411,151</td><td style="text-align: center;">3,624,988</td><td style="text-align: center;">31,036,140</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 営業収益は顧客の所在地を基準とし、国ごとに分類しております。</p> <p>(2) 有形固定資産</p> <p>本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております</p> <p>3. 主要な顧客ごとの情報</p> <p>(1) 投資信託の名称</p> <p>東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）</p> <p>(2) 委託者報酬</p> <p>3,106,318千円</p> <p>(3) 関連するセグメント名</p> <p>投資運用業及び投資助言・代理業にこれらの附帯業務を集約した単一セグメント</p>	日本	その他	合計	27,411,151	3,624,988	31,036,140	<p>[セグメント情報]</p> <p>同左</p> <p>[関連情報]</p> <p>1. 製品及びサービスごとの情報</p> <p>同左</p> <p>2. 地域ごとの情報</p> <p>(1) 営業収益</p> <p style="text-align: center;">(単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">日本</th><th style="text-align: center;">その他</th><th style="text-align: center;">合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">26,788,631</td><td style="text-align: center;">3,676,070</td><td style="text-align: center;">30,464,702</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 営業収益は顧客の所在地を基準とし、国ごとに分類しております。</p> <p>(2) 有形固定資産</p> <p>同左</p> <p>3. 主要な顧客ごとの情報</p> <p>当社は、外部顧客からの収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。</p>	日本	その他	合計	26,788,631	3,676,070	30,464,702
日本	その他	合計											
27,411,151	3,624,988	31,036,140											
日本	その他	合計											
26,788,631	3,676,070	30,464,702											

(関連当事者情報)

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 関連当事者との取引

- (1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主（会社等の場合に限る。）等
重要な取引はありません。

(2) 財務諸表提出会社の子会社及び関連会社等
重要な取引はありません。

(3) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金 又は 出資金 (千円)	事業の 内容 又は 職業	議決権 の所有 割合	関連当事者と の関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
同一の親会社をもつ会社	東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区	101,994,694	損害保険業	なし	投資信託の取扱	投資信託に係る事務代行手数料の支払	1,337,087	未払手数料	450,379
						役員の兼任				

(注) * 取引価格については、市場実勢等を勘案し、交渉の上決定しております。

* 取引金額には、消費税等は含まれてありません。

(4) 財務諸表提出会社の役員及び主要株主（個人の場合に限る。）等
重要な取引はありません。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する情報

(1) 親会社情報

東京海上ホールディングス株式会社（東京証券取引所に上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

重要な関連会社はありません。

第40期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主（会社等の場合に限る。）等
重要な取引はありません。

(2) 財務諸表提出会社の子会社及び関連会社等

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金 又は 出資金 (USD)	事業の 内容 又は 職業	議決権 の所有 割合	関連当事者 との関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
子会社	Tokio Marine Asset Management (USA), Ltd.	米国・ニューヨーク	500,000	投資運用業 投資助言業	直接100%	運用及び調査の委託 役員の兼任	調査費等の支払(注1)	969,960	未払金	377,132

(注1)取引価格については、市場実勢等を勘案し、交渉の上決定しております。

(3) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金 又は 出資金 (千円)	事業の 内容 又は 職業	議決権 の所有 割合	関連 当事者 との関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
同一の親会社をもつ会社	東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区	101,994,694	損害保険業	なし	投資信託の取扱 役員の兼任 資金の貸付	投資信託に係る事務代行手数料の支払(注1)	1,559,839	未払手数料	496,183
							資金の貸付(注2)	14,166,773	関係会社短期貸付金	19,384,558
							資金の貸付に係る利息受取(注2)	39,806	関係会社未収収益	-

(注1)取引価格については、市場実勢等を勘案し、交渉の上決定しております。

(注2)資金の貸付については、CMS(キャッシュ・マネジメント・システム)にかかるものであり、適用金利は、市場金利等を勘案して合理的に決定しております。また資金の貸付に係る取引金額は、当事業年度における平均貸付残高を記載しております。

(注3)取引金額には、消費税等を含めておりません。

(4) 財務諸表提出会社の役員及び主要株主（個人の場合に限る。）等
重要な取引はありません。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する情報

(1) 親会社情報

東京海上ホールディングス株式会社（東京証券取引所に上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

重要な関連会社はありません。

（1株当たり情報）

第39期 自 2023年4月1日 至 2024年3月31日	
1株当たり純資産額	660,759円61銭
1株当たり当期純利益金額	123,612円34銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	
(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎	
貸借対照表の純資産の部の合計額	25,307,093千円
純資産の部の合計額から控除する金額	-
普通株式に係る当期末の純資産額	25,307,093千円
1株当たり純資産額の算定に用いられた当期末の普通株式の数	38,300株
1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎	
損益計算書上の当期純利益金額	4,734,352千円
普通株主に帰属しない金額	-
普通株式に係る当期純利益金額	4,734,352千円
普通株式の期中平均株式数	38,300株

第40期	
自 2024年4月1日	
至 2025年3月31日	
1 株当たり純資産額	687,513円86銭
1 株当たり当期純利益金額	125,679円97銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	
(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎	
貸借対照表の純資産の部の合計額	26,331,781千円
純資産の部の合計額から控除する金額	-
普通株式に係る当期末の純資産額	26,331,781千円
1株当たり純資産額の算定に用いられた当期末の普通株式の数	38,300株
1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎	
損益計算書上の当期純利益金額	4,813,542千円
普通株主に帰属しない金額	-
普通株式に係る当期純利益金額	4,813,542千円
普通株式の期中平均株式数	38,300株

独立監査人の監査報告書

2025年6月5日

東京海上アセットマネジメント株式会社
取締役会御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 石井 章悟
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 奈良将太朗
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている東京海上アセットマネジメント株式会社の2024年4月1日から2025年3月31日までの第40期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、東京海上アセットマネジメント株式会社の2025年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者及び監査役の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。

- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2025年10月17日

東京海上アセットマネジメント株式会社

取締役会御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 奈良 将太朗
業務執行社員

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている東京海上・がんとたかう投信（為替ヘッジなし）（年1回決算型）の2025年2月5日から2025年8月4日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、東京海上・がんとたかう投信（為替ヘッジなし）（年1回決算型）の2025年8月4日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2025年2月5日から2025年8月4日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、東京海上アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務

諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

東京海上アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2025年10月17日

東京海上アセットマネジメント株式会社

取締役会御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 奈良 将太朗
業務執行社員

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている東京海上・がんとたかう投信（為替ヘッジあり）（年1回決算型）の2025年2月5日から2025年8月4日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、東京海上・がんとたかう投信（為替ヘッジあり）（年1回決算型）の2025年8月4日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2025年2月5日から2025年8月4日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、東京海上アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務

諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

東京海上アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。